

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	政策研究、国際政治・経済研究、国際企業研究、観光研究などの領域において課題を発見し、深く掘り下げ研究することができる。
DP2	国際的かつ学際的な視野をもって、幅広い教養、専門的知識、実務及び専門能力、異文化適応力を修得し、高度の専門性を要する職場等で活用することができる。

2. アセスメント・ポリシー

#	アセスメント項目	アセスメント・プラン	対応するDP										責任主体	備考	
			DP1	DP2											
共通基礎アセスメント項目															
1	入学試験	入学定員充足率及び収容定員充足率によりアセスメントを行う。	○											研究科委員会	
2	GPA	GPA分布によりアセスメントを行う。		○										研究科委員会	
3	成績評価	成績分布及び単位修得率によりアセスメントを行う。		○										研究科委員会	
4	履修状況	履修登録率によりアセスメントを行う。	○											研究科委員会	
5	在学生調査	在学生意識調査の調査回答率及び各設問の肯定回答率によりアセスメントを行う。	○											研究科委員会	
6	海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等	各海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等の参加者及び成果によりアセスメントを行う。	○											研究科委員会	
7	地域活動	各地域活動等の参加者及び成果によりアセスメントを行う。	○											研究科委員会	
8	退学率/休学率	退学率及び休学率によりアセスメントを行う。	○											研究科委員会	
9	検定/資格（外部語学検定試験含む）等	各種検定・資格の受験条件充足率、受験率、合格率等によりアセスメントを行う。													実施している専攻のみ対象
10	学位授与	学位授与数によりアセスメントを行う。		○										研究科委員会	
11	修了後の進路	就職率及び進学率によりアセスメントを行う。		○										研究科委員会	
12	修了時調査	修了時調査の調査回答率及び各設問の肯定回答率によりアセスメントを行う。		○										研究科委員会	
論文作成過程アセスメント項目															
13	研究計画書	修士論文研究発表進捗記録シートによりアセスメントを行う	○											指導教員	実施している分野のみ対象
14	プロジェクト計画書	修士論文研究発表進捗記録シートによりアセスメントを行う	○											指導教員	実施している分野のみ対象
15	研究計画発表	修士論文研究発表進捗記録シートによりアセスメントを行う	○											指導教員	実施している分野のみ対象
16	プロジェクト報告書計画発表	修士論文研究発表進捗記録シートによりアセスメントを行う	○											指導教員	実施している分野のみ対象
17	研究中間報告発表	修論発表会での参加教員からのコメント等も踏まえて、修士論文研究発表進捗記録シートによりアセスメントを行う	○											指導教員	実施している分野のみ対象
18	プロジェクト報告書中間報告発表	修論発表会での参加教員からのコメント等も踏まえて、修士論文研究発表進捗記録シートによりアセスメントを行う	○											指導教員	実施している分野のみ対象
19	論文作成計画発表	修論発表会での参加教員からのコメント等も踏まえて、修士論文研究発表進捗記録シートによりアセスメントを行う	○											指導教員	実施している分野のみ対象
20	プロジェクト報告書作成計画発表	修論発表会での参加教員からのコメント等も踏まえて、修士論文研究発表進捗記録シートによりアセスメントを行う	○											指導教員	実施している分野のみ対象
21	修士論文概要発表	修論発表会での参加教員からのコメント等も踏まえて、修士論文研究発表進捗記録シートによりアセスメントを行う	○											指導教員	実施している分野のみ対象
22	プロジェクト報告書概要発表	修論発表会での参加教員からのコメント等も踏まえて、修士論文研究発表進捗記録シートによりアセスメントを行う	○											指導教員	実施している分野のみ対象
23	修士論文審査	最終口述試験での主査・副査からのコメント等も踏まえて、最終口述試験の評価シートによりアセスメントを行う	○	○										研究科委員会	実施している分野のみ対象
24	プロジェクト報告書審査	最終口述試験での主査・副査からのコメント等も踏まえて、最終口述試験の評価シートによりアセスメントを行う	○	○										研究科委員会	実施している分野のみ対象

国際アドミニストレーション専攻（課程レベル）新旧DPマッピング表

◆新DPと旧DPの比較

新ディプロマ・ポリシー (2022年度入学生から適用)	
DP1	政策研究、国際政治・経済研究、国際企業研究、観光研究などの領域において課題を発見し、深く掘り下げ研究することができる。
DP2	国際的かつ学際的な視野をもって、幅広い教養、専門的知識、実務及び専門能力、異文化適応力を修得し、高度の専門性を要する職場等で活用することができる。

旧ディプロマ・ポリシー (2021年度入学生まで適用)	
DP1	国際的な広い視野に立って精深な学識を授け、高度の専門性を要する職業等に必要の実務及び専門能力と異文化適応力を身につけていること。
DP2	本課程に原則として2年以上在学し、所定の単位以上を修得し、かつ修士論文またはプロジェクト研究報告書を提出し、本学学位規程に定める審査及び最終試験に合格すること。ただし、優れた業績等を上げた者については、修士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
DP3	国際的かつ学際的教養を有していること。
DP4	「政策研究」「国際研究」「国際企業研究」「観光研究」などの分野に精通し、国際社会で活躍できる高度な専門的知識と実践的な実務能力を共に身に付けていること。

◆新DPと旧DPのマッピング

新DP	旧DP									
DP1	<u>DP4</u>									
DP2	<u>DP1</u>	<u>DP3</u>								

備考
旧DP2については、新DPに準拠するアセスメント・ポリシーでは測定不可のため、旧DP適用学生については引き続き「国際アドミニストレーション研究科 修士論文研究発表進捗記録シート」を用いてアセスメントを行う。